



くろしおニュース



2022年2月1日号(偶数月発行)

編集・発行 土佐清水市立市民図書館

〒787-0306 土佐清水市幸町 4-19

T E L 0880-82-4151 F A X 0880-82-4160

E-MAIL info@tosashimizu-public-library.jp

H P http://www.tosashimizu-public-library.jp

資料特別整理期間による休館のお知らせ

2月23日(水・祝)～2月28日(月)

上記期間中は、蔵書点検や書架の清掃などを行うため、休館いたします。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



- ・延滞資料がある方は、**2月22日(火)**までにご返却ください。
- ・休館中は入口横のブックポストに返却できます。



3月1日(火) 午前10時より、開館予定です。



「えひめAIと野菜づくりの講習会」

野菜の生育促進から、生ごみの消臭に台所のぬめりとりまで、幅広く使える『えひめAI』を実際に作り、DVDを見ながら野菜づくりについて学びます。

野菜づくりに興味のある方、新しい肥料を試してみたい方、ぜひご参加ください。



日 時：令和4年2月19日(土) 10:00～11:30 場 所：市民図書館 2階視聴覚室

持ち物：蓋つきのペットボトル(500ml) 1本 定 員：15名 ※要申込 参加無料

共催：一般社団法人農山漁村文化協会・土佐清水市農業委員会・土佐清水市立市民図書館



「読み聞かせで使える手あそびとわらべうた講座」

高知市で「おひさま文庫」を開いている岡本悦子さんを講師に迎え、読み聞かせの時に使える手あそびやわらべうたの講座を行います。お気軽にご参加ください。



日 時：令和4年3月13日(日) 10:00～11:30 場 所：市民図書館 2階視聴覚室

対 象：読み聞かせボランティアの方・読み聞かせに興味のある方 定 員：15名 ※要申込 参加無料

各講座お申し込み・お問い合わせ：市民図書館 0880-82-4151

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、検温、消毒にご協力をお願いいたします。

また、県内の感染状況により、イベントの一部変更・延期・中止等を行う場合があります。

コロナ対策として、1F・2Fフロアに換気扇を設置いたしました！





私の一冊



図書館をよく利用してくれている方に本の紹介をお願いしてみました。
今回は 谷岡 暁美さんが素敵な本の紹介をしてくれます！

『ボクの音楽武者修行』

小澤征爾／著 音楽之友社 1980

私は活字中毒じゃないかと思う。テレビを見ているとテロップ字幕が流れると、その文字を追ってしまう。時には洗髪をしてドライヤーで髪を整える時も本を置いて読みながらすることも。もちろんトイレにも本は置いてある。寝る前と起床時に 20 分から 30 分ほど読むのが習慣になっているから枕元にも常に本が置いてある。捕物帳が好きだ。でも、これにはちょっと困る。面白くなると最後まで読まなければ我慢できないからだ。最近では知野みさきを読んでいる。江戸時代の女職人が主人公のシリーズだが、この女職人の性格がちよっとドライで何となく面白いと思っていたら、作者はバンクーバーに住む銀行員だった。なるほどと思った。

ところで、余談が長くなってすみませんが、今回紹介したかったのは、捕物帳小説ではなく、「小澤征爾」の「ボクの音楽武者修行」だ。日本が世界に誇る指揮者小澤征爾が、ニューヨーク・フィル副指揮者に就いたばかりの 26 歳の時に書いた自伝的青春の書だと思う。ページをめくった最初に「若き小澤征爾が指揮棒をかまえたアップの写真」が掲載されている。初々しい小澤征爾がなんとも素敵で、迷わず購入したが、私は音楽には疎くこの頃は小澤征爾のことはよく知らなかった。

私は若いころに友人 3 人とヨーロッパ（ザルツブルグ）に旅行したことがある。ザルツブルグにはモーツァルトの生家もあり、いかにも音楽の町という感じであちこちにコンサートが開かれていた。また、映画（サウンドオブミュージック）の舞台になったことから撮影に使われた場所があるという。家庭教師になったマリアがトラップ大佐と愛を語った四阿屋だ。早速、見学のツアーに申し込むと車に乗り合わせたのはアメリカ人の親子 4 人と私たち 3 人だけだった。帰りの頃にはすっかり意気投合してアメリカ版ドレミの歌と日本版ドレミの歌の大合唱となった。その夜、お城で行われる小さなコンサートの帰り道ですごい人だかりにであう。カラヤンが指揮するコンサートとのこと。ワッと駆け寄ってみると、ホール玄関に車が止まって素敵な男性が降り立った。ハリウッド俳優のリチャード・チェンバレンがこれまた美しい女性をエスコートしていた。私たちは、それを見ただけで興奮冷めやらず声高に話していた。すると、私たちが日本人と分かったのか男の人が「セイジ、オザワ」（たぶんそう言ったのだと思う）とか話しかけてきた。でも、私たちは彼が何を言っているのかが訳が分からず ???

「ボクの音楽武者修行」を読み進むうちザルツブルグでのことが思い出されて、ああそうだったのかと気づいた。そして面白さに引き込まれて一気に読み通した。以来、この本はお気に入りの一冊になっている。

外国の音楽をやるためにはその音楽の生まれた土地、そこに住んでいる人間をじかに知りたいと思い始めた若き小澤征爾は、まだ海外旅行が今ほどポピュラーではない時代に神戸港から貨物船にのってフランスへ向かって出向する。見送りは友人とその母親、兄貴の三人だけ。持っていくものは、ヨーロッパでの足となるスクーターとヘルメット、ギターだけ。スクーターは①日本国籍を明示すること。②音楽家であることを示すこと。③事故をおこさないこと。という条件で富士重工から提供してもらったもの。そして「白いヘルメットにギターをかついで日の丸をつけたスクーターにまたがり、奇妙ないでたちの欧州行脚」が始まる。この無謀とも思えるこの挑戦に賛同して金銭面も含めての応援もした友人知人、また、日本から来た若者を心暖かく受け入れ、便宜を図り応援してくれたヨーロッパの人々の中で彼は成長し、幸運をつかんでいく。小澤征爾の家族への手紙には、家族へのやさしさやユーモア、甘え上手なところなどがよく表されている。コンクールで 1 位を取った後、裸で川辺に立つ写真の添え書きはこうだ。「コンクールの後三日ばかり毎日釣りをした。向こうにピキニスタイルのフランス美人が現れたので対抗上はだかになった」グラマラスな女性のこちら側にガリガリに痩せてスカートのような短パンをはいた若い男。全く対抗にはなっていない。このひとをくったような天真爛漫ともいえるようなユーモアが随所に見られるのも本書を面白くしている。

この頃はまだ世界の小澤征爾の姿はまだない。しかし、その片鱗はうかがえる。フランスのブザンソンでのコンクールで 1 位になったことを皮切りに世界のひのき舞台でとんとん拍子に成功して少しずつ有名になっていく。世界の巨匠との交流。そして、全編にみなぎる音楽への強い意志、陽気な行動力、彼と接した人皆が彼の応援者となるような人間的魅力。それらすべてのものが合わさって、世界の小澤征爾が生まれたのだと思う。最終章では、ニューヨーク・フィルのバーンスタインと共に凱旋帰国。「フィンガーの真下、いた、お母さんだ。おやじさんだ。……」小澤征爾の胸の高鳴りが聞こえてくるような一文だ。こちらまで、心弾んでワクワクする。すぐれた自伝は心を楽しませるといふ。本書もその例に漏れない。ぜひ、一読を。

私は小澤征爾のファンだが、実は一度も生の小澤征爾のコンサートにはいったことがない。若いときは時間がなくて、今は時間はたっぷりあるのに、チケットがとれない。音楽を聴いてではなく、本からのファンいうのも活字中毒の私らしいということかな。

2月の新着図書 (一部紹介)

◇ 一般図書

分類	書名	著者	出版者
0 総記	今日は何の日?今日も本の日!	逢坂肇と流泉書房の仲間たち	苦楽堂
1 哲学	朱子学のおもてなし	垣内 景子	ミネルヴァ書房
	なぜ私は怒れないのだろう	安藤 俊介	産業編修センター
2 歴史	なぜ眞子さまの結婚はバッシングされたのか	香山 リカ	秀和システム
	ホームレス女子大生川を下る	佐藤 ジョアナ玲子	報知新聞社
3 社会科学	あいつゲイだって	松岡 宗嗣	柏書房
	子育てがぐっとらくになる「言葉がけ」のコツ	島村 華子	KADOKAWA
	職場のトリセツ	黒川 伊保子	時事通信出版局
4 自然科学	くじらのおなかに入ったら	松田 純佳	ナツメ社
	ひとりぼぐし	崎田 ミナ	日経BP
	舌圧トレーニングで免疫力が上がる!健康になる!	元島 道信	主婦の友社
5 技術	基本からわかる男の料理術	辻調理師専門学校料理監修	成美堂出版
	「半導体」のことが一冊でまるごとわかる	井上 伸雄	ベレ出版
	赤ちゃんが欲しい「メンズ妊活」まるっと1冊		主婦の友社
6 産業	有機の土づくり超基本と応用		ブティック社
	美しい純喫茶の写真集	品川 亮	パイインターナショナル
7 芸術	我が家は前からソーシャル・ディスタンス	綾小路 きみまる	マキノ出版
	山岳気象遭難の真実	大宅 康裕	山と溪谷社
8 言語	白川静さんに学ぶ感じがわかるコロナ時代の二文字熟語	小山 鉄郎	論争社
	もっとナチュラルふだんのひとことフランス語	トリコロン・パリ	白水社
9 文学	かぐや姫、物語を書きかえろ!	雀野 日名子	河出書房新社
	スモールワールズ	一穂 ミチ	講談社
	俺と師匠とブルーボーイとストリッパー	桜木 紫乃	KADOKAWA
	「違うこと」をしないこと	吉本 ばなな	KADOKAWA
	生きたい彼死にたい私	咲 セリ	さくら舎
	少女たちの戦争	中央公論新社	中央公論新社
	ペイント	イ ヒヨン	イースト・プレス
	ぼくはテクノロジーを使わずに生きることにした	マーク・ボイル	紀伊国屋書店
遠慮深いうたた寝	小川 洋子	河出書房新社	

☆ 児童・中高生図書

2 歴史	はじめての考古学	松木 武彦	筑摩書房
3 社会科学	社会福祉学部	元木 裕	ペリかん社
4 自然科学	海の生きものの本	シャーロット・ミルナー	合同出版
	じぶんでよめるどうぶつずかん	成美堂出版編集部	成美堂出版
7 芸術	アニメ業界で働く	小杉 真紀	ペリかん社
8 言語	カキナーレ	深谷 純一	東方出版
9 文学	マイブラザー	草野 たき	ポプラ社
	道化者	トーマス・マン	理論社
	かすみ川の人魚	長谷川 まりる	講談社
	正吉とヤギ	塩野 米松	福音館書房
絵本	おいものもーさん	岡田 よしたか	ブロンズ新社
	まるとてんてんのえほん	たかはし みどり	デコ
	きかんしゃトーマスおやすみの10のおはなし		ポプラ社
	ヴォドニークの水の館	まき あつこ	BL出版
紙芝居	ふゆのおともだち	磯 みゆき	童心社

新着図書の情報は『広報とさしみず』にも掲載しています。どうぞ合わせてご覧ください。